

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2011年度パブリックサービス研究分科会 第10回講義録

講義：文化学園大学図書館のコレクションと貴重書デジタルアーカイブの紹介

講師：「ファッションプレート（服飾版画）の主な技法について」

文化学園大学図書館・司書長、柳沼恭子

「貴重書デジタルアーカイブ」

文化学園大学図書館・司書一課課長補佐、尾崎弘美

機器操作：文化学園大学図書館・司書一課、佐藤友治

日時：2011年5月27日（金） 13:20-14:35

場所：文化学園大学（新都心キャンパス）B館4階 B045a 会議室

書記：武藤、山田

※ この講義は、西洋古版本研究分科会と合同で受講した。

文化学園大学のコレクションと貴重書デジタルアーカイブ

開学以来、図書館では主に西洋の服飾を中心としたコレクションを形成してきた。原則として1900年以前に発行された資料を貴重書としており、その内古典書、民族服、ファッションプレート、雑誌、稀覯本などのデジタル化を計画した。

2001年度に構築した「貴重書画像データベース」を基に、2010年図書館開館60周年記念事業としてシステムのリニューアルを行い、同時にコンテンツを大幅に拡充した「貴重書デジタルアーカイブ」を全面公開した。

貴重書数

〔 図書：1,742タイトル 2500冊、雑誌：172タイトル 3,245冊
16世紀の資料 22冊、17世紀の資料 29冊 〕

デジタル化資料数

209タイトル 55,000画像

「ファッションプレート（服飾版画）の主な技法について」「貴重書デジタルアーカイブ」についての講演の後、貴重書の実物を見せていただく機会をいただいた。

コレクションの概要

コレクションは、服飾や風俗を表すため図版（版画）を用いた資料が多い。

図版が多いことは、デジタルアーカイブを特徴づけるのに好都合であった。絵があることによって、研究者以外の一般の方にも、「綺麗」「楽しい」ものとして見てもらえる。

コレクションの活用例

- ・デジタル化（内部では、2000 年開始）
- ・目録、解題を刊行（6 冊）
- ・学園カレンダーへの掲載
- ・学内・学外展覧会の開催
- ・博物館への貸出

「ファッションプレート（服飾版画）の主な技法について」

版画の形式は、凸版、凹版、平版、孔版の 4 種類があり材料も木版、金属版など時代によって主流のものが変遷している。以下の 9 種類の貴重書について、原書（一部）と貴重書デジタルアーカイブの画像を提示して版画技法などの説明があった。

1. 「ヨーロッパ、アジア、アフリカのほかの様々な服飾集」 木版

Recueil de la diversité des habits, qui sont de présent en usage tant es pays d'Europe, Asie, Affrique & illes sauvages, le tout fait après le naturel. -- De l'imprimerie de Richard Breton, 1562. (初版)

服飾図集としては世界最古といわれるもの。1562 年発行、121 点の木版画、各図の下に四行詩が記してある。著者の表示はないが、前書にフランソワ・デュセルプがアンリ 4 世（当時 8 歳）に捧げた図集とある。

キャプションの説明は、アジア等外国のものについては簡単だが、ヨーロッパについては、国名、職業など詳細である。想像上の動物など人間以外の図も 4 点ある。

3 版まで 1500 年代に発行されている。最近、初版の復刻版（彩色、英訳）が発行された。書体はシビリテ（ゴシック系列の活字のひとつ。2 版、3 版はローマン体）。子供向けの本に使われるといわれている。

図像の枠にも装飾が施されページによって模様が異なるが、フレームは使い回しされており絵とフレームの作者は別人と思われる。

装丁は後の時代のもの。その際周囲がカットされてしまったのが残念である。

2. ヨスト・アマン「職人絵づくし」 木版

Π α ν ο π λ ι α omnium illiberalium mechanicarum aut sedentariarum artium genera continens, quotquot vnquam vel à veteribus, aut nostrietium seculi, ... / [Edited by] Hartman Schopperus ; [engraved by] Jost Amman. -- Sigismundus Feyraben, 1568.

16 世紀末ヨーロッパの様々な職業に携わる人物を表している図集。靴職人かつ詩人だったハンス・ザックスの八行詩が添えられている。1568 年発行。

初版はドイツ語版であるが、同年にラテン語版が発行されている。

3. ホルツィウス、ヘイン「ルドルフ II 世の将校と軍人」銅版 エングレーヴィング

Officers & soldiers of Rudolph II / H. Goltzius, I. de Gheyn --Amsterdam : [s.n.] , 1587
台紙に貼った版画を製本したもの。上記のタイトルは、この表紙によるが、書誌では Officers and soldiers of a regiment of infantry of the Neherlands 「オランダ歩兵連隊の将校達」とタイトルをつけている。

版画下部のサインが著者判別の材料となるが、時代が下るとサインのない版画が多くなる。胴体をひねっている姿が多く、当時の描法の一つのスタイルであったらしい。また、太って見える人物が多く描かれているのは、腹に詰め物をするのが流行していたからである。版画の技法は、エングレーヴィング。金属を直接彫って陰影や遠近感などすべてを線で表現する技法であり熟練を必要とする。

4. 雑誌「キャビネ・デ・モード」銅版 エッチング

Cabinet des modes, ou, Les modes nouvelles --Paris : Buisson , 1785-1786, Magasin des modes nouvelles, françaises et anglaises. --Paris : Buisson , 1786-1789

1785年に創刊されたフランスのモード雑誌。1年後には「マガザン・デ・モード」とタイトルが変遷している。配本されたままのものも一年分所蔵するが、これは後に装丁されたものである。当時は、雑誌の購入者が自分好みの装丁で合本製本をするというのが通常であった。タイトルの変遷があっても、背タイトルはそのままであることもあったので、雑誌の目録を採る時には要注意である。

それぞれのエッチングの版画に手仕事による彩色が施されている。手本となった色があったかもしれないが、残存するコピーにより彩色が異なることもある。色付けは主に女性の仕事だったようである。

5. シュール「ハンブルクの服飾」銅版 エッチング・アクアティント

Hamburgische Trachten = Costumes de Hambourg / gezeichnet und gestochen von Christoph Suhr.--[Hambourg] : [s.n.] , 1812

この時代の様々な職業の人が描かれている。

版画技法はエッチングが主だが、黒い背景など面として表現する部分ではアクアティント、顔やサインなど緻密な表現はエングレーヴィングを使用し版画の特徴を使い分けている。銅版画は、画面の周囲に強いプレスによるくぼみ（プレートマーク）が付くことが特徴である。

6. ドゥヴェリア「街で、または芝居や仮装で着る歴史服」石版

Costumes historiques de ville ou de théâtre et travestissemens / par A. Devéria.--Paris : Goupil et Vibert , [1831]

多色刷石版。人物のみ手彩色。19世紀の各国の衣装が描かれているが、舞台衣装、仮装などの参考にするのを目的に出版されたもので、実証性は高くない。

7. 雑誌「ラ・モード・イリュストレ」銅版

La mode illustrée : journal de la famille.--Paris : Firmin Didot frères, fils , 1860-

1800年代半ばから20世紀前半まで発行された大判のファッション雑誌に添えられたファッションプレート。手彩色。版画の技法は、エッチングが用いられている。大半はモード画家の三姉妹によって描かれたもの。

文化学園大学図書館ではこのファッションプレートの水彩による原画集 (Album de La mode illustrée) も所蔵しており、学園カレンダーや校舎の壁画の図案として使用している。

8. 雑誌「ガゼット・デュ・ボン・トーン」ステンシル

Gazette du bon ton : arts, modes & frivolités.--Paris : Librairie centrale des beaux-arts , 1912-

20世紀で最も評価の高いモード誌のひとつといえる。文化学園大学図書館では、販売当時の形で所蔵している。印刷技術が発達するにつれ、かつての銅版画、手彩色の芸術性の高い挿絵がだんだん貧弱なものに変わっていったが、それに抗するように芸術性の高い図版を多用して刊行されたのが「ガゼット・デュ・ボン・トーン」である。

彩色の技法は、ステンシル（孔版、ポシヨワール）で、色が均質で濃淡がないのが特徴である。

9. ジョルジュ・バルビエ画「ブリティスの唄」多色刷木版

Les chansons de Bilitis : traduit du grec / illustrations de G. Barbier ; gravées sur bois par F.L. Schmied ; [texte par] Pierre Louÿs.--Paris : Collection Pierre Corrard , 1922

1920年代のフランスでは愛書家の間で挿絵本が流行した。それらを美しく装丁することも愛書家の趣味となっており、購入価格の何倍も金額をかけていた。文字やレイアウトも美しいこれらの挿絵を、額に入れて飾って楽しむこともあった。

多色刷木版は、浮世絵の影響を受けており色毎に版を作成し、刷り重ねて彩色する技法である。

「貴重書デジタルアーカイブについて」

<貴重書デジタルアーカイブ公開へ向けての軌跡>

2001年 構築

通産省による補助金を受けて、貴重画像のデータ化を開始

2002年 図書館内で公開

2008年 2010年文化学園大学（旧文化女子大学）の創立60周年に合わせ、3年計画でリニューアルを開始

開発（パッケージを使わず、独自に開発）、撮影

2009年 撮影、キャプション作成、一部公開開始

2010年 和訳、件名の付与

2011年3月 文化学園大学の創立60周年を記念し、「貴重書デジタルアーカイブ」を公開
209タイトル、55,000画像、他に7タイトルは図書館内でのみ閲覧可能

<貴重書デジタルアーカイブについて、こだわった点>

1. 現物の代替物として貴重書を傷めることなく公開することは、図書館の使命である。
多くの人に見てもらいたいという目的でデジタルアーカイブを始めた。
表紙から裏表紙まで、現物をそのまま公開した。
2. 予備知識を持たない一般ユーザーであっても辿り着けるよう、検索の窓を工夫した。
3. “テーマ別検索”で検索ツールを工夫して、短時間での書誌へのアクセスを可能にした。
4. “詳細検索”で画像へ直接アクセスできるよう工夫した。
5. 画像にも“件名”をつけた。日本語で検索でき、書誌を横断して画像へ辿り着く仕組みを構築した。

<難しかった点>

- ・英語、仏語、独語が多い資料を図書館員で割り振って翻訳した。2002年に公開したデータは、教員や研究者が翻訳している。

<改善点>

- ・検索のレスポンスの悪さや和訳の完成度を改善中である。

以上